Panasonic®

パーソナルコンピューター

取扱説明書

品番 **CF-W2 シリーズ**

XP

本書以外のマニュアル

- **印刷されているマニュアル**
  - **ご使用の前に**
    付属品や保証とアフターサービスなどについて説明しています。
- **画面で見るマニュアル**
  コンピューター本体に保存されています。
  起動のしかたについては 21 ページを参照してください。
  - **操作マニュアル**
    周辺機器の拡張方法や省電力機能など、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。
  - **バッテリー等の上手な使い方**
    バッテリーをできるだけ長持ちさせ、駆動時間を長くする方法などについて説明しています。
  - **Windows のヘルプ**
    Windows の操作や各機能について説明しています。

もくじ

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」（2 ～ 5 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

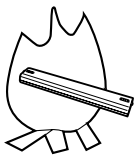
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

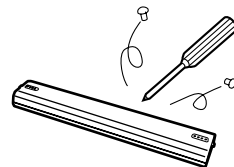
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

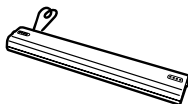
バッテリーパックに関する注意　⚠危険

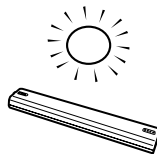
火中に投入したり加熱したりしない

発熱・発火・破裂・爆発の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

禁止
発熱・発火・破裂の原因になります。

クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス（＋）とマイナス（−）を金属などで接触させない

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックに関する注意

⚠ 危険

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-W2 シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告

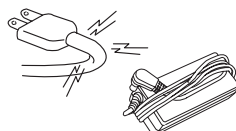
異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く
- 本体が破損した
- 本体内に異物が入った
- 煙が出ている　・異臭がする
- 異常に熱い

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

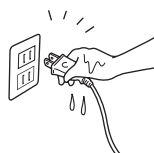
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

安全上のご注意

⚠ 警告

本機を改造しない
また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

⚠警告
高電圧に注意 本機を分解･改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

無線 LAN に関する注意

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る[*1]

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る[*1]（手術室、集中治療室、CCU[*2]等には持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る[*1]

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

*1 やむをえずこのような環境でコンピューター本体を使用するとき：タスクトレイの⚡（無線 LAN の電源オン時）をクリックし、[無線 LAN の電源を切る] をクリックしてください。

*2 CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

⚠ 注意

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

● 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

炎天下の車中に長時間放置しない

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間直接触れて使用しない

本機や AC アダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど [*3] の原因になります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

DVD-ROM&CD-R/RWドライブの内部をのぞきこまない

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

● 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

ひび割れたり変形したりしたディスクは使用しない

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。

● 円形でないディスクや、接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので、使用しないでください。

[*3] 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

本装置はレーザ利用機器です。
ご注意 - ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザ放射の被曝をもたらします。分解や修理は行わないでください。

クラス1レーザ製品

表記について／使用上のお願い

表記について

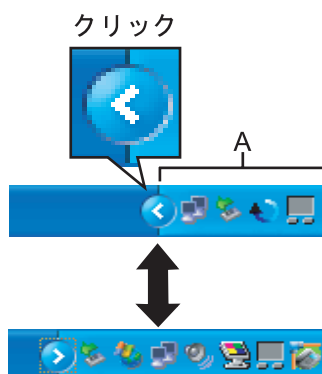
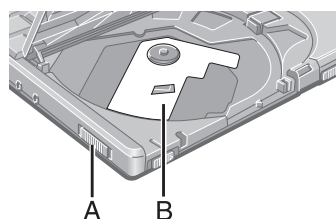
Enter	キーボードの Enter キーを押すことを意味します。
Fn+**F5**	キーボードの Fn キーを押しながら、F5 キーを押すことを意味します。
[スタート] - [検索]	画面上の [スタート] をクリックした後、[検索] をクリックすることを意味します。
➔ または⇒	参照先を意味します。 ➔ : 本書の参照ページ ⇒ : コンピューター本体に保存されている『操作マニュアル』または、付属の『ご使用の前に』

- 本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。制限付きアカウントのユーザーで実行できない機能があったり、画面表示が本書と違ったりする場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして、操作してください。

- 別売りの商品について
  本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

- 本書では、「Microsoft® Windows® XP Professional operating system」を「Windows」と表記します。

- 本書では、以下のソフトウェアを次のように表記します。
  - 「WinDVD™ 5（OEM 版）」を「WinDVD」
  - 「B's Recorder GOLD7 BASIC」を「B's Recorder」
  - 「B's CLiP 5」を「B's CLiP」

- 本書で説明しているタスクトレイ（A）内のアイコンが隠れて表示されていない場合は、をクリックしてすべてのアイコンを表示させてください。

使用上のお願い

■ ドライブをお使いになる前に

- 初めてドライブを使用するときは、コンピューターの電源を入れた後、本体左側のオープンレバー（A）をスライドしてディスクカバーを開け、保護シート（レンズ保護用の厚紙 :B）を取り除いてください。

- 油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。
  レンズの寿命が短くなることがあります。

アプリケーションの問い合わせ先一覧

アプリケーションソフトが正しく動作しない場合、まず、本書および『操作マニュアル』の「困ったときの Q&A」や各アプリケーションソフトのヘルプを十分にご確認ください。
インターネットに接続できる場合は、各アプリケーションソフトの製造元のホームページにある、よくある質問などのサポート情報もご参照ください。
ここにも問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、下記へお問い合わせください。
お問い合わせの際には、必ず、お使いのコンピューターの状況をご連絡ください。
（2004 年 1 月現在）

● マカフィー ®・ウイルススキャン

（デスクトップに [マカフィー・ウイルススキャン icon] が表示されている場合のみ）
お問い合わせは弊社カスタマーサポートではなく、下記サポートセンターにお問い合わせください。
マカフィー・ウイルススキャンがプリインストールされたコンピューターを購入のお客様に対応いたします。

マカフィー・カスタマオペレーションセンター

- 受付内容
  登録方法やお支払い等のオペレーション上のお問い合わせをいただく窓口です。
- 主な受け付け内容
  Web での登録方法に関するご相談
  お客様登録情報の変更等のご相談
- お問い合わせ時間帯：月～金曜日　9:00 ～ 17:00（祝祭日を除く）
- 電話 [*1]：0570-030-088
- E-mail[*2]：mo_coc@nai.com

マカフィー・テクニカルサポートセンター

- 受付内容
  ソフトウェアの操作方法や不具合等の技術的なお問い合わせをいただく窓口です。
- 主な受け付け内容
  ソフトウェアのインストールに関するご相談
  障害に関する技術的問い合わせ
- お問い合わせ時間帯：年中無休　9:00 ～ 21:00
- 電話 [*1]：0570-060-033
- E-mail：テクニカルサポートへ E-mail でお問い合わせをご希望されるお客様は、下記 Web ページ内にあるお問い合わせフォームをご利用ください。
- Web ページ：http://www.mcafeehelp.jp/

[*1] FAX による問い合わせは行っておりません。
[*2] E-mail の受理は 24 時間行っております。

● B's Recorder/B's CLiP

- 株式会社ビー・エイチ・エー
  テクニカルサポートセンター
  Windows 用製品向け代表番号
  TEL：06-4861-8234
  FAX：06-6378-3336
  受付時間：月～金曜日 10:00 ～ 17:00、
  土曜日 10:00 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00
  （毎月最終土曜日、夏季・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）
- Web サイト：http://www.bha.co.jp/support/

● WinDVD

- インタービデオ ジャパン株式会社
  Web サイト：http://www.intervideo.co.jp
- ユーザーサポート：
  E-mail: techsupp@intervideo.co.jp
  TEL：03 - 5447 - 0576
  FAX：03 - 5447 - 6689
  受付時間：月～金曜日、9:30 ～ 17:00（12:00 ～ 13:30 および祝祭日、夏季・年末年始特定休業日を除く）

● そのほかの導入済みソフトウェア
本書および『ご使用の前に』の「保証とアフターサービス」に記載されている「パナソニックパソコンお客様ご相談センター」までお願いいたします。

また、次の手順で「パナソニックパソコンお客様ご相談センター」へのお問い合わせ先をご確認いただけます。

① [スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
② [サポート情報]をクリックする。

各部の名称と働き

ラッチ

ディスプレイを閉じてラッチがロック状態になると、以下の項目の設定に従い、「スタンバイ状態」に入るなどの動作をします。
⇒『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」
[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」

・操作を再開するときは、ディスプレイを開けてください。

スピーカー

- 音量調整：Fn + F5 ／ Fn + F6
- スピーカーのオン／オフ：Fn + F4

お願い

- 雷が鳴りはじめたら、電源プラグとモジュラーケーブルを抜いてください。

無線LAN用アンテナ部

⇒『操作マニュアル』「無線LAN機能」

電源端子 DC IN 16V

外部ディスプレイコネクター

⇒『操作マニュアル』「外部ディスプレイ」

USBコネクター

⇒『操作マニュアル』「USB機器」

マイク入力端子

コンデンサー型モノラルマイクロホンの2極プラグタイプと3極プラグタイプを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。

オーディオ出力端子

市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ヘッドホンまたはスピーカーを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

DVD-ROM & CD-R/RWドライブ

⇒『操作マニュアル』「DVD-ROM & CD-R/RWドライブ」

オープンレバー

スライドするとディスクカバーが開きます。電源が入っているときのみ機能します。

初めてドライブを使用するときは、電源を入れた後、オープンレバーをスライドしてディスクカバーを開け、保護シート（レンズ保護用の厚紙）を取り除いてください。

⚠注意

通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

禁止

キーの組み合わせによる操作

Fn と組み合わせてキーを押すと、以下のような機能を使うことができます。
各機能の詳細：⇒『操作マニュアル』「キーの組み合わせによる操作」

キー	機能	ポップアップウィンドウ（Windows にログオン後表示）
Fn+F1 Fn+F2	**内部 LCD の輝度調整（下げる）** **内部 LCD の輝度調整（上げる）**	
Fn+F3	**画面の表示先の切り替え** （外部ディスプレイ接続時）	—
Fn+F4	**音声出力のオン／オフ**	オフ（ミュート） オン
Fn+F5 Fn+F6	**音量調整 （下げる）** **音量調整 （上げる）**	
Fn+F7	**スタンバイ機能を使って電源オフ**	—
Fn+F9	**バッテリーの残量確認**	100 % バッテリー装着時（表示は一例です） -- % バッテリー未装着時
Fn+F10	**休止状態機能を使って電源オフ**	—
Fn+F11	**使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（SysRq）**	—
Fn+F12	**画面をクリップボードにコピー（PrtSc）** 画面全体をクリップボードにコピーします。 Fn+Alt+F12 を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	—
Fn+NumLk Fn+Ins Fn+Del	**使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。** **Fn+NumLk：ScrLk** **Fn+Ins：Pause** **Fn+Del：Break**	—
Fn+←	**最初のページに移動またはカーソルを行の先頭に移動（Home）**	—
Fn+→	**最後のページに移動またはカーソルを行の最後に移動（End）**	—

状態表示ランプ一覧

各ランプについては『操作マニュアル』の「状態表示ランプ」にも記載しています。

ランプ	ランプの名前と状態
	電源状態表示ランプ ● 消灯：電源オフまたは休止状態。 ● 点灯：電源オン。 ● 点滅：スタンバイ状態。
	バッテリー状態表示ランプ ● 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態。 ● オレンジ色点灯：充電中。 ● 緑色点灯：充電完了。 ● 赤色点灯：残量約 9% 以下。 ● 赤色点滅：バッテリーパックまたは充電回路が正しく動作していない状態。 ● オレンジ色点滅：一時的に充電できない状態。（バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外）
A	Caps Lock ランプ (キャップスロック) ● **Shift** を押しながら **Caps Lock** を押すと点灯：アルファベットが大文字で入力できる状態。
1	NumLk ランプ (テンキーモード) ● **NumLk** を押すと点灯：キーボードの一部がテンキーとして機能する状態。 ランプ点灯時に押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。 **Enter** の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。 解除するには、もう一度 **NumLk** を押します（ランプ消灯）。 ● NumLk ランプ点灯時： テンキーモード 7 8 9 − 4 5 6 ↵ 1 2 3 + ＊ 0 · /
	ScrLk ランプ (スクロールロック) ● **Fn** を押しながら **ScrLk** を押すと点灯：使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
	ハードディスク状態表示ランプ ● 点灯：ハードディスクへのアクセス中。
	DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ状態表示ランプ ● 点灯：DVD-ROM & CD-R/RW ドライブへのアクセス中。
SD	SD メモリーカード状態表示ランプ ● 点灯：SD メモリーカードまたはマルチメディアカードへのアクセス中。

はじめて使うとき

お買い上げ後、はじめて Windows の操作を始めるまでの操作手順を説明します。

1 付属品を確認する。（⇒付属の『ご使用の前に』）

2 ソフトウェア使用許諾書（➔ 49ページ）に同意する。

コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

3 本体を裏返し、バッテリーパックを取り付ける。

① 左側のラッチ（手動：A）をロック解除の方向（）にスライドする。

② バッテリーパックの向きに注意して、矢印の方向にスライドさせて取り付ける。

③ 左側のラッチ（手動：A）をロックの方向（）にスライドし、しっかりと固定されていることを確認する。
（右側のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。）

- ラッチが正しくロックされていることを確認してください。ラッチがロックされていない状態でコンピューターを持ち運ぶと、バッテリーパックが落ちることがあります。
- バッテリーパックおよびコンピューターのコネクター部分に触れないようにしてください。コネクターが汚れたり、損傷したりすると、接触が悪くなったり、十分に充電できなかったりすることがあります。また、コンピューターが正しく動作しないことがあります。
- ご使用にあたってバッテリーパックについての安全上のご注意（➔ 2ページ）をよくお読みください。

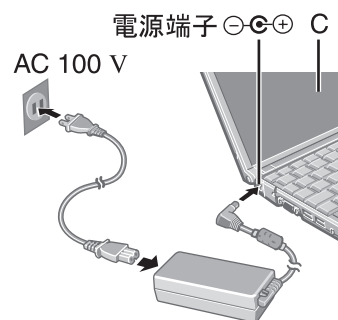
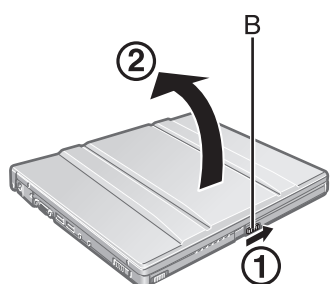
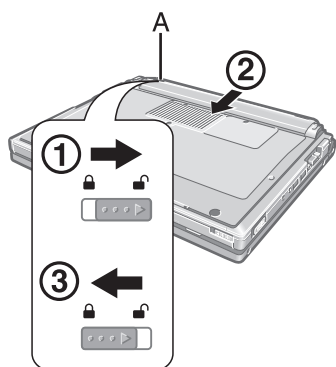
4 ディスプレイを開ける。

① ラッチ（B）を矢印の方向にスライドする。

② ディスプレイを開ける。

- ディスプレイを必要以上（135°以上）に開けたり、必要以上の力を液晶部分（C）に加えたりしないでください。また、液晶部分を持って開閉しないでください。

5 ACアダプターを接続する。

- はじめて使うときの操作が完了するまで、必ず接続しておいてください。AC アダプターを接続すると、自動的にバッテリーパックの充電が始まります。
  充電時間：約 4.5 時間（コンピューターの動作状態により異なる。）
- はじめて使うときは、バッテリーパックと AC アダプター以外の周辺機器を接続しないでください。

⚠ 注意

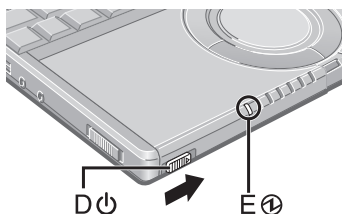
ACアダプターに強い衝撃を加えない

禁止

落とすなどして強い衝撃が加わった AC アダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

- AC アダプターの修理は、販売店にご相談ください。

必ず指定のACアダプターを使用する

指定以外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

6 電源を入れる。

電源スイッチ⏻（D）を約1秒間スライドし、電源状態表示ランプ⏀（E）が点灯したら手を離します。

- 電源スイッチを 4 秒以上スライドしないでください。電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで 10 秒以上あけてください。
- Windows のセットアップを行う前に、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。アプリケーションソフトが正しく動作しない場合があります。
- 「Windows XP セットアップウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、ホイールパッドに触れたりしないでください。

7 Windowsをセットアップする。

カーソル(⇖)の移動やボタンなどの選択（クリック）には、ホイールパッドを使います。（➔ 20ページ）

①「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面で[次へ]をクリックする。

②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、[同意します]をクリックして、[次へ]をクリックする。

- 「同意しません」をクリックした場合、Windows のセットアップが中止されます。

③「地域と言語のオプション」画面で正しい地域を設定して、[次へ]をクリックする。（工場出荷時は日本に設定されています。）

④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]をクリックする。（組織名は省略可能）

⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]をクリックする。（パスワードは省略可能）

- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れると Windows を使用することができません。
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows 起動後、[スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻、タイムゾーンを設定して[次へ]をクリックする。
コンピューターが自動的に再起動し、Windowsが起動します。

- 再起動まで2～3分程度かかる場合があります。キーやホイールパッドなどを操作せずにそのままお待ちください。

手順 ⑤ でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して をクリックする必要があります。

8　ユーザーアカウントを作成する。

① [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント][*1] をクリックし、[新しいアカウントを作成する]をクリックする。

② アカウントの名前を入力して、[次へ]をクリックする。

③ [アカウントの作成]をクリックする。

- 最初に追加するユーザーアカウントは「コンピューターの管理者」のアカウントになります。
  「コンピューターの管理者」のアカウントを作成すると、以降、制限ユーザーのユーザーアカウントが作成できるようになります。
- パスワードを設定する場合は、パスワードを設定するアカウントをクリックしてから [パスワードを作成する] をクリックし、画面に従ってパスワードを入力して、[パスワードの作成] をクリックします。

④ [スタート] - [終了オプション] - [再起動]をクリックして、コンピューターを再起動する。

⑤ コンピューターの管理者の権限でログオンする。

- メールの設定やパスワードリセットディスク（➔ 17 ページ）などの各種操作を行ってからユーザーアカウントを作成すると、それまでのメールの履歴や設定内容が使用できなくなります。
- 「ようこそ」画面には追加したユーザーアカウントのみが表示され、Windows のセットアップ時に作成した「Administrator」のアカウントは表示されません。

*1　お使いのモデルによっては、[ユーザーアカウント] を再度クリックする操作が必要です。

9　デスクトップの をダブルクリックして、Windows® Media Playerを起動する。

以降、画面の指示に従ってください。

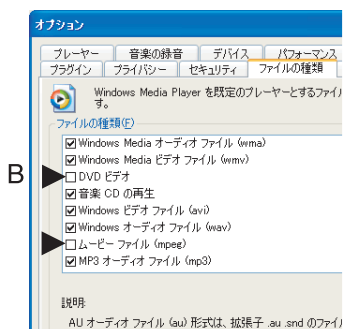
- 設定の途中、使用許諾に同意する必要があります。
  Windows® Media Player では、アカウントを作成するごとに使用許諾に同意する必要があります。
- 使用許諾で [同意しない] をクリックする、または何も選ばないでウィンドウを閉じると、デスクトップのすべてのアイコンを選べなくなる場合があります。この場合は、コンピューターを再起動してください。
- DVD ビデオと MPEG ファイルが自動的に WinDVD（⇒『操作マニュアル』「WinDVD」）で再生されるようにするには、左の A、B どちらかの画面で「DVD ビデオ」と「ムービーファイル（mpeg）」のチェックマークを外してください。

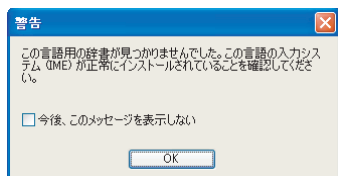
A

B

A. Windows® Media Playerを初めて起動したときに、設定画面の1つとして表示されます。

B. Windows® Media Playerを起動し、[ツール] - [オプション] - [ファイルの種類]をクリックすると表示されます。

- 設定終了後は画面上の をクリックして Windows® Media Player を閉じてください。

【Microsoft® Office Personal Edition 2003 **付属のモデルをお使いの方**】

- Microsoft® Office Personal Edition 2003 のアプリケーションソフトを初めて起動したとき
  - 「ユーザー名の指定」画面が表示されます。氏名と頭文字を入力してください。この画面は、ユーザーアカウントを作成するごとに表示されます。
  - 引き続き、使用許諾の画面が表示されます。必ずコンピューターの管理者の権限でログオンしていることを確認して、同意してください。
    コンピューターの管理者以外の権限でログオンして同意すると、次回これらのアプリケーションソフトを起動したとき、再度、使用許諾の画面が表示されます。
- 手書き入力パッドを起動したとき

Microsoft® IME2003 のツールバーで または をクリックして手書き入力パッドを起動すると、左の画面が表示されますが、動作には問題ありません。[今後、このメッセージを表示しない] をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックしてください。
このメッセージは、Microsoft® IME2003 手書き入力パッドの問題としてマイクロソフト社より報告されています。詳しくはマイクロソフト社のホームページをご覧ください。

- 以下の手順で Microsoft® Office Personal Edition 2003 を最新の状態にすることができます。

  ① インターネットに接続し、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Windows Update]をクリックしてWindows Updateを実行する。

  ②「Windows Updateへようこそ」で、[Officeのアップデート]をクリックする。

  ③「Officeのアップデート」の「アップデートの確認」をクリックする。
  画面の指示に従ってアップデートを行ってください。

お知らせ

- Microsoft® Office Personal Edition 2003の操作方法については、付属のソフトウェアパッケージ内の説明書をご覧ください。
- Microsoft® Office Home Style+のケータイ連携機能をお使いになる場合は、専用のUSBケーブル[*1]が必要です。
  詳しくは、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Microsoft Office Home Style+ガイド]をクリックして、「Home Style+ガイド」の[ケータイ連携]をご覧ください。

[*1] 最新の対応状況については、マイクロソフト社のホームページでご確認ください。

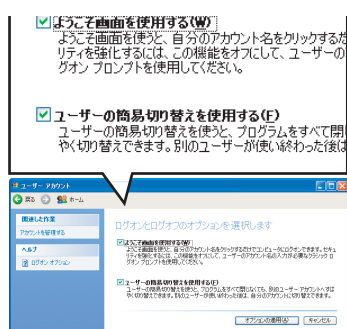
■ はじめて使うときの操作はこれで完了です。

Windowsについて

Windows の設定、インストールしているアプリケーションソフトやドライバーによって、Windows のメニューや表示が本書と異なったり、一部の機能（パスワードリセット機能など）が動作しない場合があります。

ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント][*1] - [ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する] をクリックし、「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、起動時および終了時の操作が以下のように異なります。

*1　お使いのモデルによっては、[ユーザーアカウント] を再度クリックする操作が必要です。

「ようこそ画面を使用する」の設定	起動時の操作	終了時の操作
チェックマークを付けている場合	ユーザーの名前のリストが表示され、ログオンしたいユーザー名をクリックする。	[スタート] - [終了オプション] - [電源を切る] をクリックする。
チェックマークを付けていない場合	ユーザー名とパスワードを入力して [OK] をクリックする。	[スタート] - [シャットダウン] - [シャットダウン] をクリックして、[OK] をクリックする。

- SD カード設定（⇒『操作マニュアル』「SD メモリー／マルチメディアカード」）で「Windows のログオン時に使用する」に設定している場合は、ようこそ画面は使用できません。

● 「ユーザーの簡易切り替えを使用する」

この設定にチェックマークを付けていると、複数のユーザーがコンピューターを使用している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り替えることができます。「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けていない場合やネットワークのドメインに参加している場合などは、この機能は使えません。また、アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。
本書では、チェックマークを付けている場合の手順で説明します。

- ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、画面の設定ができなくなる場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。

パスワードリセット機能について

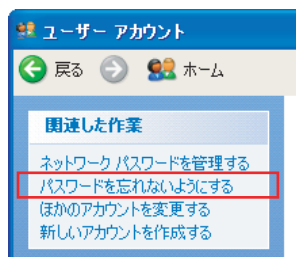
Windows のログオンパスワードを忘れてしまったときのために、現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定するパスワードリセット機能があります。この機能を使うには、以下の手順に従って、あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておいてください。

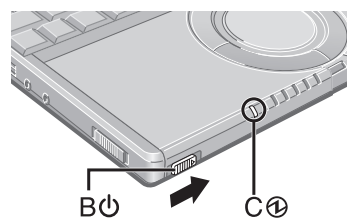
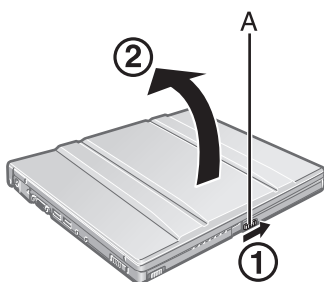
① 別売りのUSBフロッピーディスクドライブ（⇒付属の『ご使用の前に』）を本機に接続する。

② [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]*1 をクリックする。

③ ログオンしているアカウントをクリックし、[関連した作業]内から[パスワードを忘れないようにする]をクリックする。
以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。

- パスワードリセットディスクで解除できるのは、各アカウントのログオンパスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。

*1 お使いのモデルによっては、[ユーザーアカウント] を再度クリックする操作が必要です。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1　ディスプレイを開ける。

① ラッチ（A）を矢印の方向にスライドする。

② ディスプレイを開ける。

- ディスプレイを必要以上（135° 以上）に開けたり、必要以上の力を液晶部分に加えたりしないでください。また、液晶部分を持って開閉しないでください。

2　電源を入れる。

電源スイッチ（B）を約1秒間スライドし、電源表示ランプ（C）が点灯したら手を離します。

- 起動中は、ポインターが砂時計（）から通常のもの（）に戻り、ハードディスク状態表示ランプが消えるまで、以下のことはしないでください。
  - AC アダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。
- 電源スイッチを 4 秒以上スライドしないでください。電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで 10 秒以上あけてください。

3　Windowsにログオンする。

ハードディスク状態表示ランプが消えてから、ユーザー（ユーザーのアイコン）をクリックします。

- パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してをクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。
- ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」の設定により異なります。（➔ 16 ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）
- 「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けていても、ユーザーが一人だけ作成されていて、パスワードが設定されていない場合は、ユーザーを選ぶ画面が表示されません（自動ログオン）。

4　操作をする。

各種アプリケーションソフトなどを起動し、操作を始めてください。

お知らせ

- お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、以下のようになります。
  - ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
    この場合、ホイールパッド、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
    アプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。
    また、コンピューターを操作せずに放置していると、スタンバイ状態または休止状態に入るように設定されています。電源スイッチをスライドするとリジュームします。（⇒『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）
- 電源を入れても本体が起動しない場合
  CPUの温度が上がっていることがあります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

■ 電源を入れたあとすぐに左の画面が表示されたら...

本機のセキュリティのため、パスワードが設定されています。
パスワード [*1] を入力し **Enter** を押してください。

- 正しく入力すると起動します。
- 3 回間違えるかパスワードを入力せずに約 1 分経過すると、電源が切れます。

*1 セットアップユーティリティで設定されているスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードです。(Windows のパスワードではありません。)

電源を切る

1 **必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。**

2 **終了画面を表示する。**

[スタート] - [終了オプション]をクリックする。
(➔ 16ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」)

3 **[電源を切る]をクリックする。**

自動的に電源が切れます。

- 起動し直したい場合(再起動):[再起動] をクリックする。

■ キーボードを使って電源を切るには:

⊞、**U** の順に押し、**→** **←** **↑** **↓** で [電源を切る] を選んで **Enter** を押す。

お願い

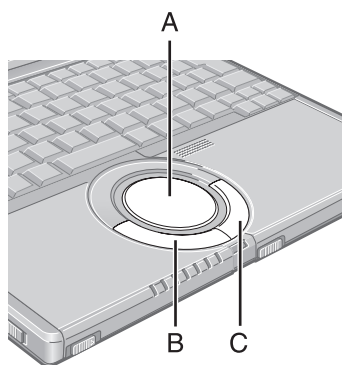
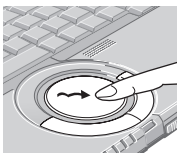
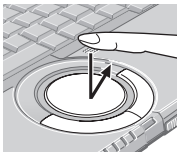
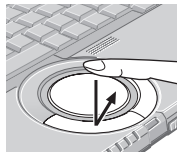
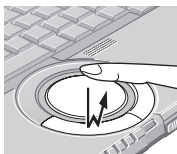
- 終了処理が行われている間は、以下のことをしないでください。
  - ACアダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド(外部マウス)に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。

お知らせ

- コンピューター本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。(ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1.5 Wの電力が消費されます。)

■ 席を外すなど、操作を中断するとき...

「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます。(⇒『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」)

ホイールパッド

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。

A. 操作面（ホイールパッド）

B. 左ボタン

C. 右ボタン

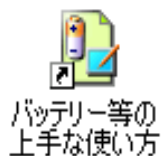
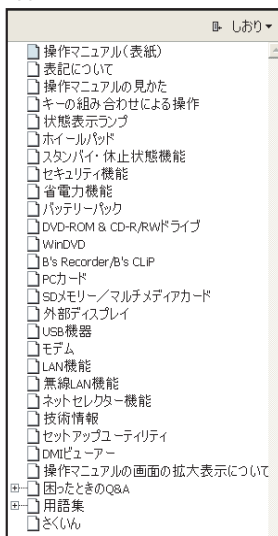
機能	操作
カーソルを動かす	指先を操作面で動かします。
タップ／クリック	タップ　または　クリック
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ　または　ダブルクリック
ドラッグ	1 回タップしてからすばやく指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら指を移動させる。
スクロール	円を描くようにホイールパッドをなぞる。 ⇒『操作マニュアル』「ホイールパッド」

お知らせ

- 上記以外の基本的な操作については、[マウスのプロパティ]を参照してください。
  [マウスのプロパティ]画面を表示するには：
  [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [マウス]をクリックする。
- ホイールパッドに触れたときの感度を調節することができます。
  （⇒『操作マニュアル』「ホイールパッド」）
- 外部マウスを接続していて、カーソルが正しく動作しなくなった場合：
  セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]を[無効]に設定してください。再び、ホイールパッドを使用するときは、[有効]に設定してください。（➔　30ページ）
- ホイールパッドの取り扱いは、以下の点に気を付けてください。
  - ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。操作面にものを置いたり、つめなど先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
  - 油などでホイールパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。

画面で見るマニュアル

『操作マニュアル』『バッテリー等の上手な使い方』

操作マニュアルのもくじ

『操作マニュアル』と『バッテリー等の上手な使い方』は、本機のハードディスクに保存されていて、Acrobat® Reader を使って画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、必要なページを印刷することもできます。

- 画面を拡大表示する方法が、『操作マニュアル』に記載されています。

■ 操作マニュアル

『操作マニュアル』では、周辺機器の拡張方法や省電力機能など、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。

- 起動のしかた

1 [**スタート**] - [**操作マニュアル**]**をクリックする。**

■ バッテリー等の上手な使い方

バッテリーをできるだけ長持ちさせ、駆動時間を長くする方法などについて説明しています。

- 起動のしかた

1 **デスクトップの（バッテリー等の上手な使い方）をダブルクリックする。**

以下の手順でも『バッテリー等の上手な使い方』がご覧になれます。
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [バッテリー等の上手な使い方]をクリックする。

- はじめて『操作マニュアル』『バッテリー等の上手な使い方』を起動したときは、Acrobat® Reader の「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示される場合があります。その場合は、内容を確認のうえ、[同意する] をクリックしてください。
- Acrobat® Reader の使いかたについては、Acrobat® Reader のヘルプを参照してください。

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターを接続している場合は、必要なページを印刷しておくことをおすすめします。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

Windowsのヘルプ

Windows の操作や各機能についての説明を画面で見ることができます。

- 起動のしかた

1 [**スタート**] - [**ヘルプとサポート**]**をクリックする。**

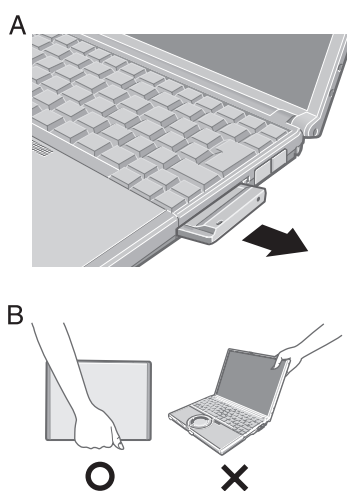
上手にお使いいただくために

使用するとき／保管するとき

- 適した場所
  - 平らで落下のおそれがない場所
    コンピューターを立てて置かないでください。倒れると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。
  - 使用時の温度　：5 ℃～ 35 ℃
    　　　湿度　：30 %RH ～ 80 %RH　（結露なきこと）
    保管時の温度　：-20 ℃～ 60 ℃
    　　　湿度　：30 %RH ～ 90 %RH　（結露なきこと）
- 磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）の近くには置かないでください。

持ち運ぶとき

A

B

以下のことをお守りください。

- 電源を切る。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出た PC カード（左図 A）、SD メモリーカードやマルチメディアカードをすべて取り外す。
- ディスプレイを閉じ、ラッチ部分（➔　8 ページ）がきちんとかみ合っていることを確認する。
  ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。（左図 B）
- 落としたり机の角など硬い物にぶつけたりしない。
- 航空機利用時
  - コンピューターやディスクなどは、手荷物として持つ。
  - 航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。
- 予備のバッテリーパック（別売り）は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。

以下のことをおすすめします。

- 予備のバッテリーパック（別売り）を用意する。
- データのバックアップをとり、必要に応じてバックアップしたデータも一緒に持ち運ぶ。

お手入れ

- ディスプレイ／ホイールパッドのお手入れ：
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ディスプレイ以外の部分／ホイールパッドに汚れが付着した場合：
  水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

無線LANについて

- 無線 LAN で使用できるチャンネル
  本機では、1 ～ 11 チャンネル[*1] を使用します。使用するチャンネルを確認してください。アクセスポイント（別売り）の中には、工場出荷時の設定として、無線 LAN が使用するチャンネルを 12 ～ 14 チャンネルのいずれかとしているものがあります。このような場合は、アクセスポイントに付属の説明書をご覧になり、チャンネルを 1 ～ 11 チャンネルのいずれかに設定してください。

[*1] ワイヤレス通信においては、使用する周波数帯域を分割し、それぞれの帯域によって異なる通信を行うことができます。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

無線LANご使用時のセキュリティについて

無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。（⇒ 『操作マニュアル』「無線 LAN」、お使いの無線アクセスポイントの説明書）

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに電波を利用してコンピューターと無線アクセスポイント等との間で情報のやり取りを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁等）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
  - ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
  - メールの内容

  等の通信内容を盗み見る可能性があります。

- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
  - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  - コンピューターウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

  等を行う可能性があります。

本機の無線 LAN 機能や無線アクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線アクセスポイントにあわせてセキュリティに関する設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。

無線 LAN のセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線 LAN の仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをおすすめします。お客様ご自身で対処できない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

周辺機器を使用する場合

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。
また、本書および操作マニュアルとあわせて、使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 仕様に適合した周辺機器を使用する。
- コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
- 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
- 固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
- ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

コンピューターのセキュリティについて

コンピューターのセキュリティ向上のため、以下の方法をお使いください。

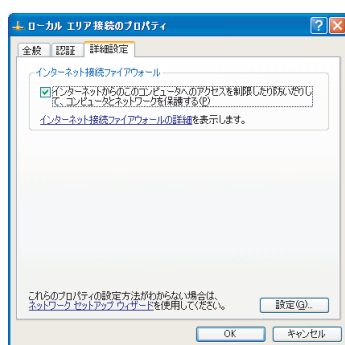
- ウィルス対策ソフト（市販）を使う。
- インターネット接続ファイアウォールを使う。
- Windows Update を行う。（➔　25 ページ）
- マイクロソフト社および、お使いのアプリケーションソフトの製造元のホームページ等で、セキュリティに関する最新の情報を入手する。

ウィルス対策ソフトを使う

特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
ウィルスチェックは、ウィルス対策ソフトを必ず最新の状態にして行ってください。

- コンピューターを起動したとき
- データを入手したとき
  フロッピーディスクなどの外部ディスクから、またネットワーク、インターネット、電子メールなどから入手したデータ (圧縮されている場合は、圧縮復元後のファイル) を使用ま たは実行する前に必ずウィルスチェックを行ってください。

- デスクトップに（マカフィー®・ウイルススキャンのセットアップ）のある方
  コンピューターウイルスを検査、駆除するソフトとして、マカフィー®・ウイルススキャンをお使いいただくことができます。くわしくは別紙の『ご使用の前に』をご覧ください。

インターネット接続ファイアウォールを使う

インターネット接続ファイアウォールは、インターネット経由の不正アクセスなどからコンピューターを保護します。以下の方法で設定してください。

① [スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [ネットワーク接続]をクリックする。
②「LANまたは高速インターネット」カテゴリのうち、保護したい接続のアイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
③ [詳細設定]をクリックし、[インターネット接続ファイアウォール]の[インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する]をクリックしてチェックマークを入れ、[OK]をクリックする。

インターネットへの接続方法が複数ある場合、それぞれの接続について手順の ② ～ ③ を繰り返してください。

お知らせ

- ネットワークに関連したソフトウェアやネットワークゲームによっては、インターネット接続ファイアウォールを有効にしていると、正常に動作しないものがあります。このようなソフトをお使いになる場合のインターネット接続ファイアウォールに関しては、お使いのソフトウェア製造元にお問い合わせください。
- インターネット接続ファイアウォールの詳細については、[スタート] - [ヘルプとサポート]をクリックし、検索に「インターネット接続ファイアウォール」と入力して、表示されるヘルプをご覧ください。

Windows Updateについて

Windows Update を行うと、Windows 用の最新サービスパックや修正プログラムを利用して、お使いのコンピューターの Windows を最新の状態にすることができます。
インターネットに接続し、以下の手順で行ってください。

① 弊社のホームページ（http://panasonic.biz/pc/support/security/winupdate/）にアクセスして、本機に関するWindows Updateの情報を確認する。

② Windows Updateを実行する。
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Windows Update]をクリックする。

「ドライバの更新」に表示される項目は適用しないでください。ドライバーの更新が必要な場合は、上記の弊社ホームページでお知らせしますので、そちらを適用してください。

- 再インストールした後も必ず [Windows Update] を行ってください。
- インストールされている修正プログラムを以下の方法で確認することができます。
[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックする。
  - [プログラムの追加と削除] に表示されない修正プログラムもあります。
  - [プログラムの追加と削除] に表示されるプログラムのうち、Hotfix（またはホットフィックス）と書かれたプログラムには、セキュリティ関連の修正プログラムが含まれています。誤って削除しないようご注意ください。

【Microsoft® Office Personal Edition 2003 **付属のモデルをお使いの方**】

- 「Office のアップデート」を利用して Microsoft® Office Personal Edition 2003 を最新の状態にすることができます。（➔ 15 ページ）

操作の方法

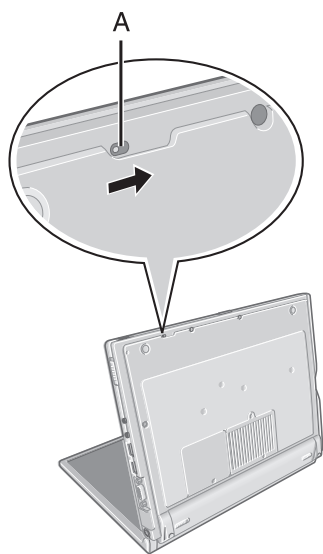
ハードディスクのデータ保護

以下のことをお守りください。

- **コンピューター本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。**
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータや Windows およびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
- **Windows やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスク状態表示ランプ が点灯中は、電源を切らない。**
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート] メニューから電源を切ってください。（➔ 19 ページ）
- **磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。**
  ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。
- **ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合（故障／不本意なデータ更新／消失など）に備えて定期的にバックアップをとる。**
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- **データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。**
  （⇒『操作マニュアル』「セキュリティ機能」「SD メモリー／マルチメディアカード」）

ハードディスクのパーティション（区画）を変更する場合

- 再インストールで「OS 用とデータ用の 2 つのパーティションを作成して、OS 用パーティションに Windows を再インストールする」を実行すると、パーティションを 2 つに分割することができます。「ディスクの管理」を使用すれば、さらに高度な操作を行うこともできます。

DVD-ROM & CD-R/RWドライブについて

■ ディスクカバーを開くとき／閉じるとき

- コンピューターの電源が入っている場合は、必ず左側のオープンレバーを使うか、Windows 上で取り出しの操作を行ってください。
  B's Recorder または B's CLiP をお使いの場合は、『操作マニュアル』「B's Recorder/B's CLiP」をご覧ください。
- ディスクカバーが開かないときや、電源を入れないでディスクを取り出したいとき：
  ゼムクリップを引き伸ばしたものやボールペンの先などを底面のエマージェンシーホール（A）に挿し込み、矢印の方向に動かしてください。
- ディスクカバーは約 70°まで開きます。それ以上、無理に開けないでください。
  手などが触れて 70°以上開いてしまった場合は、ディスクカバーのストッパーが元に戻るまで、ゆっくりと手前に戻してください。
- 開けたままで放置したり、レンズの部分に手を触れたりしないでください。
  ごみやほこりがレンズに付着し、データを読み取れなくなる場合があります。また、使用環境によっても、ほこりがレンズに付着することがあります。
- ディスクカバーが開いているときに、以下のことをしないでください。
  - ディスプレイを閉じない。
    必ずディスクカバーが閉じていることを確認してからディスプレイを閉じてください。液晶部分が傷つくことがあります。
  - ドライブのすき間部分にゼムクリップなどの異物を入れない。
    故障の原因になります。
- ディスクは確実にセットしてください。
  確実にセットしないでディスクカバーを閉じると、ディスクが傷つくことがあります。

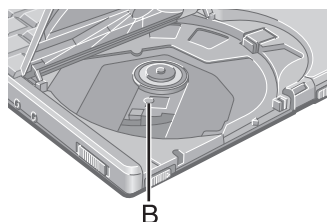
- ディスクカバーを閉じるときは、電源状態表示ランプ⏻付近（矢印の位置）を押してロックされたことを確認してください。
- ディスクカバーを閉じた後、DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ状態表示ランプ💿が消えるまで、ドライブにアクセスしないでください。

■ ドライブアクセス中

- ディスクカバーを開けたり、コンピューターを動かしたりしないでください。
  ディスクが外れて傷ついたり、故障の原因になります。
  また、ディスクにアクセスするアプリケーションソフトを起動した後は、そのアプリケーションソフトを終了するまでディスクカバーを開けないでください。
- ディスクカバーを強く押さないでください。

■ レンズのクリーニングについて

- レンズ（B）にはカメラ用のレンズブロアーの使用をおすすめします。
  （スプレー式の強力なものは使わないでください。）

操作の方法

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、コンピューターの動作環境（パスワードの設定や起動ドライブの選択など）を設定するためのユーティリティです。以下の 6 メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「セキュリティ」、「起動」、「終了」

起動する

1　コンピューターの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

2　コンピューターの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2を押す。

パスワードを入力してください　[＿　]

パスワードを設定している場合は、左の画面が表示されます。パスワードを入力し、 Enterを押してください。

スーパーバイザーパスワードを入力すると

- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

ユーザーパスワードを入力すると

- 「詳細」メニューと「起動」メニューでは :
  - 設定を参照することはできますが、変更はできません。
- 「セキュリティ」メニューでは :
  - [登録された SD の解除]、[スーパーバイザーパスワード設定] は表示されません。
  - [起動時のパスワード]、[SD による起動]、[SD のセット方法]、[Setup Utility 表示]、[Boot First Menu]、[ユーザーパスワード保護] は表示されますが、設定はできません。
  - [ユーザーパスワード保護] が [保護しない] に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更ができます。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。
- 「終了」メニューでは、[デフォルト設定] が表示されません。
- F9 は使えません。

お知らせ

- パスワードを設定していて[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合
  - コンピューター起動時 : パスワードの入力は不要
  - セットアップユーティリティ起動時 : パスワードの入力が必要。これにより、セットアップユーティリティの内容が変更されるのを防ぐことができます。
- F2を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。その場合、Windowsを終了して起動し直してください。
- セットアップユーティリティを終了するとき
  Escを押し、終了方法の項目を選んで Enterを押し、[はい]を選んで Enterを押します。

キー操作

- **F1**
  ヘルプが画面に表示されます。
- **Esc**
  「終了」メニューが表示されます。
- **↑ ↓**
  カーソルが上下に移動します。項目を選ぶときに使用します。
- **← →**
  カーソルが左右に移動します。「情報」「メイン」「詳細」「セキュリティ」「起動」「終了」の各メニューを選ぶときに使用します。
- **F5 F6**
  各項目の設定値を選ぶときに使用します。
- **Enter**
  ↑ ↓ で項目を選んだ後に押すと、各設定項目のサブメニューが表示されます。
- **F9**
  各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワードを除く）にします。（ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、このキーは無効です。）
- **F10**
  設定を保存して終了します。

お知らせ

- 日時設定のとき、**Tab**でカーソルの移動ができます。

情報メニュー

言語（Language）:	[日本語（Japanese）]
機種品番 :	CF-xxxxxxxx
製造番号 :	xxxxxxxxxx
CPU タイプ :	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
CPU スピード :	x.xx GHz
BIOS :	Vx.xxLxx
電源コントローラー :	Vx.xxLxx
メモリーサイズ :	xxx MB
プライマリー マスター :	xx GB
セカンダリー マスター :	CD/DVD ドライブ

■ 設定項目

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

言語（Language） • セットアップユーティリティの言語を選択します。	English 日本語（Japanese）

操作の方法

メインメニュー

システム時間 :	[xx:xx:xx][*1]
システム日付 :	[xxxx/xx/xx]
フラットパッド :	[有効]
ディスプレイ :	[同時表示]
拡張表示 :	[有効]
CD/DVD ドライブ速度 :	[高速]

*1　24 時間制です。

■ 設定項目

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
フラットパッド • ホイールパッドを使う（有効）／使わない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>
ディスプレイ [*2] • Windows が起動するまでの表示先を設定します。	外部ディスプレイ 内部 LCD <u>同時表示</u>
拡張表示 • Windows が起動するまでの表示を拡張表示にする（有効）／しない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>
CD/DVD ドライブ速度 • DVD-ROM & CD-R/RW ドライブの速度を速くする（高速）／遅くする（中速）を設定します。	<u>高速</u> 中速

*2　外部ディスプレイを接続していないときは、[外部ディスプレイ] や [同時表示] を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。
Windows 起動後は、次の項目で設定した内容が有効になります。
[スタート] - [コントロールパネル] - [コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) Extreme Graphics] - [デバイス]

詳細メニュー

モデム :	[有効]
LAN:	[有効]
LAN Boot 機能 :	[有効]
無線 LAN:	[有効]
レガシー USB:	[有効]

お知らせ

- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したとき、「詳細」メニューは変更できません。

■ 設定項目

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
モデム • 内蔵モデムの機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けのモデムには働きません。）	無効 <u>有効</u>
LAN • 内蔵 LAN の機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けの LAN カードには働きません。）	無効 <u>有効</u>
LAN Boot 機能 [*1] • ネットワーク上のサーバーコンピューターから起動する機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>
無線 LAN • 内蔵無線 LAN の機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けの無線 LAN カードには働きません。）	無効 <u>有効</u>
レガシー USB • Windows が起動する前に、USB キーボードおよび USB フロッピーディスクドライブをコンピューターに認識させる機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>

[*1] ［LAN］が [有効] に設定されているときのみ設定できます。
この機能は、内蔵 LAN にのみ働きます。（内蔵無線 LAN や外付けの LAN カードなどには働きません。）

セキュリティメニュー

起動時のパスワード :	[有効]
SD による起動 :[*1]	[許可]
SD のセット方法 :[*1]	[セットしたまま]
▶ 登録された SD の解除 :[*1]	[Enter]
▶ スーパーバイザーパスワード設定 :	[Enter]
Setup Utility 表示 :	[有効]
Boot First Menu:	[有効]
ユーザーパスワード保護 :	[保護しない]
▶ ユーザーパスワード設定 :	[Enter]

[*1] SD メモリーカードが登録されているときのみ表示されます。（⇒『操作マニュアル』「SD メモリー／マルチメディアカード」）

お知らせ

- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合
  - [登録されたSDの解除]、[スーパーバイザーパスワード設定]は表示されません。
  - [起動時のパスワード]、[SDによる起動]、[SDのセット方法]、[Setup Utility表示]、[Boot First Menu]、[ユーザーパスワード保護]は表示されますが、設定はできません。
  - ユーザーパスワードは[ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されているときのみ変更できます。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。

■ 設定項目

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

起動時のパスワード • コンピューター起動時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要とする（有効）／必要としない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>
SD による起動 [*1] • コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに SD メモリーカードを使う（許可）／使わない（禁止）を設定します。 SD メモリーカードを登録すると、[許可] に設定されます。	<u>禁止</u> 許可
SD のセット方法 [*1*2] • コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに SD メモリーカードを使う場合、カードのセット方法を [セットしたまま] または [セットして抜く] に設定します。	<u>セットしたまま</u> セットして抜く
登録された SD の解除 [*1] • 現在登録されているすべての SD メモリーカードが、コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに使えなくなるよう登録を解除します。	サブメニュー表示

スーパーバイザーパスワード設定 • セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、コンピューターも起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード] を [有効] に設定してください。	サブメニュー表示
Setup Utility 表示 • コンピューター起動後すぐに表示される「Panasonic」起動画面の下に [Press F2 for Setup/F12 for LAN] というメッセージを表示させる（有効）／表示させない（無効）を設定します。	無効 有効
Boot First Menu •「起動時のメニュー」を表示させる（有効）／表示させない（無効）を設定します。（➔ 34 ページ）	無効 有効
ユーザーパスワード保護 • ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する（保護しない）／許可しない（保護する）を設定します。	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定 [*3] • 本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。例えば、コンピューターを管理する人がスーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定し、他の利用者へはユーザーパスワードだけを知らせておくようにします。こうすることにより、他の利用者に対して、セットアップユーティリティの変更を制限することができます。（➔ 28 ページ）	サブメニュー表示

[*1] SD メモリーカードが登録されているときのみ表示されます。（⇒『操作マニュアル』「SD メモリーカード／マルチメディアカード」）
ただし、[起動時のパスワード] が [無効] に設定されているときは、[SD による起動] および [SD のセット方法] は設定できません。

[*2] [SD による起動] が [許可] に設定されているときのみ設定できます。

[*3] スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。

起動メニュー

オペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。

フロッピー ドライブ [*1]
ハードディスク ドライブ
CD/DVD ドライブ
LAN[*2]

[*1] フロッピーディスクドライブが接続されていない場合でも表示されます。
起動できるドライブ ⇒付属の『ご使用の前に』

[*2] 「詳細」メニューで [LAN] または [LAN Boot 機能] が [無効] に設定されているときは表示されません。

工場出荷時の設定は、[フロッピードライブ] → [ハードディスクドライブ] → [CD/DVD ドライブ] → [LAN] の順です。
優先順位を 1 つ上げる場合は、↑↓ でデバイスを選択して F6 を押す。
優先順位を 1 つ下げる場合は、↑↓ でデバイスを選択して F5 を押す。

お知らせ

- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、「起動」メニューは変更できません。
- オペレーティングシステムを起動するデバイスは、コンピューター起動時にも選択することができます。電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐにEsc を押すと、デバイスを選択する「起動時のメニュー」が表示されます。セットアップユーティリティの「起動」メニューの設定を変更すると、「起動時のメニュー」の表示も変更されます。「起動時のメニュー」は、「セキュリティ」メニューの[Boot First Menu]が[有効]に設定されているときのみ表示させることができます。

終了メニュー

設定を保存して終了
設定を保存しないで終了
デフォルト設定 [*3]
設定を戻す
設定を保存する
リフレッシュバッテリー

[*3] ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、この項目は表示されません。

■ 設定項目

設定を保存して終了	設定内容を保存して終了します。
設定を保存しないで終了	設定内容を保存しないで終了します。
デフォルト設定 [*4]	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。
設定を保存する	設定内容を保存します。
リフレッシュバッテリー	バッテリーをリフレッシュします。(⇒『操作マニュアル』「バッテリーパック」)

[*4] 工場出荷時の設定に戻すと、連動して無線 LAN の電源が入ります。無線 LAN の電源を切る必要がある場合は、Windows を起動して、無線 LAN 切り替えユーティリティで電源を切ってください。(⇒『操作マニュアル』「無線 LAN 機能」)

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、下記のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード／メッセージ	対 処
Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key	● フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押してください。 ● USB コネクターに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティを起動し、「詳細」メニューで [レガシー USB] を [無効] に設定してください。（➔ 31 ページ）
0211：キーボードエラーです。	● 外部キーボードを接続している場合は、取り外してください。
0251：システム CMOS のチェックサムが正しくありません。デフォルト値が設定されました。	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。（➔ 28 ページ） ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0271：日付と時刻の設定を確認してください。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。（➔ 30 ページ） ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0280：起動を 3 回失敗しました。ーデフォルト値を使用して起動します。	繰り返し起動に失敗したため、セットアップユーティリティをデフォルト設定に変更して起動しました。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルトの設定（工場出荷時の値）にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。（➔ 28 ページ）
＜ F1 ＞キーを押すと継続、＜ F2 ＞キーを押すとセットアップを起動します。	● エラー内容をメモした後、F2 を押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。（➔ 28 ページ）
Operating System not found	起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクに OS が正しくインストールされていません。 ● フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。 ● ハードディスクから起動できない場合は、セットアップユーティリティを起動し、「情報」メニューでハードディスクが正しく認識されているか確認してください。（➔ 29 ページ） 認識されている場合は、再インストールを行ってください。 認識されていない場合は、ご相談窓口にご相談ください。 ● USB コネクターに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティを起動し、「詳細」メニューで [レガシー USB] を [無効] に設定してください。（➔ 31 ページ）

困ったときのQ&A

トラブルが発生した場合は、以下の方法を試してください。
操作マニュアルでも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各アプリケーションソフトのマニュアルも参照してください。

どうしても原因がわからない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。PC 情報ビューアーを使って、コンピューターの使用状態などを確認することもできます。
（➔ 42 ページ）

■ 電源を入れたとき

症状	対処
電源状態表示ランプまたはバッテリー状態表示ランプが点灯しない	● AC アダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● AC アダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
USB 機器を接続していると、本機が起動しない	● 一部の USB 機器を接続していると本機が起動しない場合があります。USB 機器を外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで [レガシー USB] を [無効] に設定してください。（➔ 31 ページ）
「パスワードを入力してください」が表示された	● スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	➔ 35 ページ
Windows の起動および動作が極端に遅い	● セットアップユーティリティを起動してください。（➔ 28 ページ） F9 を押して、いったん工場出荷時の設定（パスワード設定を除く）に戻した後、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。） ● ストリーミング再生時などに動作が遅くなる場合は、画面の色数を変更してみてください。 ● 常駐しているソフトウェアがある場合は、常駐を解除してください。
日付と時刻が正しく表示されない	● 次の項目を使って訂正してください。 [スタート] - [コントロールパネル] - [日付、時刻、地域と言語のオプション] - [日付と時刻] ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持している内蔵バックアップバッテリー（リチウム電池）が消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦 2100 年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。

■ 電源を入れたとき

スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、「パスワードを入力してください」が表示されない	● セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、[起動時のパスワード] を [有効] に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。代わりに、Windows のパスワード入力が必要となるように設定することができます。 ① [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]*1をクリックし、変更するアカウントをクリックして、パスワードを設定する。 ② [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]をクリックしてチェックマークを付ける。 *1 お使いのモデルによっては、[ユーザーアカウント] を再度クリックする操作が必要です。
コンピューターの管理者のパスワードを忘れた	● 以下の手順でパスワードを設定し直してください。 パスワードリセットディスク（➔ 17 ページ）を作成していた場合は、パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って、パスワードを再設定してください。 パスワードリセットディスクを作成していなかった場合は、再インストールした後、Windows をセットアップしてパスワードを設定し直してください。
その他の問題が起きる場合	● セットアップユーティリティを起動し、**F9** を押して、いったん工場出荷時の設定（パスワード設定を除く）に戻してください。 ● 周辺機器を取り外してください。 ● 次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。 ① Cドライブのプロパティを表示する。 [スタート] - [マイコンピュータ]をクリックし、[ローカルディスク（C:）]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。 ② [ツール]をクリックして、[チェックする]をクリックする。 ③「チェックディスクのオプション」で必要に応じて項目をクリックして、[開始]をクリックする。 ● 起動時、「Panasonic」起動画面が消えたとき（パスワード設定時はパスワード入力後）に **F8** を押し続け、「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。

■ パスワード入力

パスワードを入力しても、再度入力を求められる	● キーボードがテンキーモードになっている可能性があります。 🄽ランプが点灯している場合は、**NumLk** を押してテンキーモードを解除して入力してください。（➔ 11 ページ） ● キーボードがキャップスロックになっている可能性があります。 Ⓐランプが点灯している場合は、**Shift** を押しながら **Caps Lock** を押してキャップスロックを解除して入力してください。（➔ 11 ページ）

困ったときは

■ 画面表示

電源を入れた後、画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイの画面に表示されない場合 • 外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ • 外部ディスプレイの電源は入っていますか？ • 外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ● 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 Fn+F3 を押して表示先を切り替えてください。 Fn+F3 を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り替わったことを確認してから押してください。 ● Fn+F2 を押して内部 LCD の輝度を調整してください。
画面が消えた、または画面に何も表示されない	● 省電力機能によって、ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すと元に戻ります。その際、選択に使うキー（Enter、Space、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイ（電源状態表示ランプが緑色点滅する）・休止状態（電源状態表示ランプ消灯）に入ることがあります。その場合、電源スイッチをスライドすると元に戻ります。
バッテリーパックで使用すると、AC アダプター接続時に比べて画面が暗い	● Fn+F2 を押して内部 LCD の輝度を調整してください。ただし、輝度を上げると、バッテリー駆動時間が短くなります。輝度は、AC アダプターが接続されている状態と接続されていない状態で別々に設定できます。
残像が現れる	● しばらくイメージを表示させていると、残像となることがあります。別の画面が表示されると残像は消えます。
カーソルが動かない	● 外部マウスを使用している場合は、外部マウスを正しく接続し直してください。 ● キーボードを操作してコンピューターを再起動してください。 ⊞、U の順に押し、→ ← ↑ ↓ で [再起動] を選んで Enter を押してください。 ● キーボードで操作できない場合は、「応答がない」をご覧ください。 （➔ 41 ページ）
画面に緑、赤、青のドットが残る／正しい色が表示されないドットがある	● カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（緑、赤、青色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 % 以上、画素欠け等：0.002 % 以下）
画面が乱れる	● 解像度／色数を変更すると画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。
外部ディスプレイに正しく表示されない	● 外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合、省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
外部ディスプレイと内部 LCD の同時表示に設定しているとき、片方の画面にしか表示されない	● Fn+F3 を押して表示先を切り替え直してください。 ● Fn+F3 を押して表示先を切り替えても表示されない場合は、以下の項目で表示先を変更して試してください。 [スタート] - [コントロールパネル] - [コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) Extreme Graphics] - [デバイス] ● [コマンドプロンプト] を起動しているとき、Alt+Enter を押して全画面表示にすると、片方の画面にしか表示されません。Alt+Enter を押してウィンドウ表示に戻すと両方の画面に表示されます。
WinDVD や Windows® Media Player で MPEG ファイルや DVD ビデオなどの動画を再生しているとき、Fn+F3 で画面の表示先を切り替えることができない	● MPEG ファイルや DVD ビデオなどの動画を再生中に、画面の表示先を切り替えることはできません。 再生を終了し画面の表示先を切り替えてください。

■ 画面表示

タスクトレイのアイコンが隠れて見えない	● タスクトレイの をクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。 ● 常にすべてのアイコンを表示しておきたい場合は、タスクバーを右クリックし、[プロパティ] をクリックして、[タスクバー] の [アクティブでないインジケータを隠す] をクリックしてチェックマークを外してください。

■ セットアップユーティリティ

[パスワードを入力してください] が表示された	● スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。 パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
「詳細」メニューと「起動」メニューの項目が変更できない	● スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。
「セキュリティ」メニューの一部の項目が変更できない	● スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。
F9 が動作しない	● スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。

■ 終了時

Windows が終了できない	● USB 機器を接続している場合は、一度取り外してから試してください。 ● プロバイダーへの接続は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windows が終了しなかったり、再起動できなかったりします。 通信の設定については、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN や無線 LAN は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windows が終了しなかったり、再起動できなかったりします。 LAN や無線 LAN の設定については、接続サービス会社（プロバイダー）や会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

■ スタンバイ・休止状態機能

スタンバイ・休止状態に入ることができない	● USB 機器を接続していると、スタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合があります。この場合は、Windows の動作が正常であれば USB 機器を取り外してください。それでもスタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合は、コンピューターを再起動してください。 ● スタンバイ・休止状態に入るとき、1 ～ 2 分程度かかる場合がありますが、そのままお待ちください。 ● モデムで通信しているときは、スタンバイ状態に入れない場合があります。この場合は、電源スイッチを 4 秒以上スライドして強制的に電源を切ってください。
自動的にスタンバイ・休止状態に入ることができない	● 周辺機器を接続している場合は、機器を取り外してください。 ● 内部 LCD を閉じているときは、システムスタンバイ・システム休止状態に入れない場合があります。内部 LCD を閉じた状態で使用し、システムスタンバイ・システム休止状態を働かせるためには、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] を [無効] に設定してください。
リジュームできない	● スタンバイ状態のとき、AC アダプターおよびバッテリーパックを取り外しませんでしたか？ スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。 ● 電源スイッチを4秒以上スライドしませんでしたか？　電源スイッチを4秒以上スライドすると、強制終了します。この場合、保存していないデータは消えます。

困ったときのQ&A

■ バッテリー状態表示ランプ

赤色に点灯している	● バッテリーの残量が少なくなっています。（残量約 9% 以下） AC アダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。AC アダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	● すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックと AC アダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、ご相談窓口にご相談ください。バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。
オレンジ色に点滅している	● バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。

■ 操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	● Acrobat® Reader をアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート] - [ファイル名を指定して実行] で、「c:¥util¥reader¥acroreader51_jpn_full.exe」を実行し、画面に従ってインストールしてください。その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューから操作マニュアルなどを起動できません。

■ ディスクの操作

DVD-ROM & CD-R/RW ドライブの振動や動作音が大きい	● 変形したディスクや、ラベルを 貼ったディスクを使用していませんか？ ● ディスクが正しくセットされているか確認してください。正しくセットされている場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [CD/DVD ドライブ速度] を [中速] に設定してみてください。（➔ 30 ページ） ● B’s Recorder を使ってディスクに書き込むときは、書き込み速度を [8x]（８倍速）以下に設定して書き込むと振動を抑えることができます。
ディスクが取り出せない	● コンピューターの電源が入っていますか？ オープンレバーはコンピューターの電源が入っているときのみ動作します。電源を入れてから、オープンレバーをスライドしてください。 電源が入っていない状態でディスクを取り出すには、ゼムクリップを引き伸ばしたものやボールペンの先などを底面のエマージェンシーホールに挿し込み、動かしてください。 ● B's CLiP でフォーマットしたディスクが入っている場合は、オープンレバーをスライドしても取り出しできません。B's CLiP で取り出し操作を行ってください。取り出し操作を行っても取り出せない場合は、Windows を終了し、電源が切れてからエマージェンシーホールを使ってください。

■ B's Recorder/B's CLiPの再インストール

再インストール時、シリアル番号の入力を求められた	● 下記のシリアル番号を入力してください。 B's Recorder : B's CLiP :

■ SDカード設定（SDメモリーカードによるセキュリティ機能）

SD メモリーカードで Windows にログオンできない	● Windows のユーザー名とパスワードが、SD メモリーカードに正しく設定されていません。 SD メモリーカードを使わずに Windows のユーザー名とパスワードを入力してください。 ログオンした後、以下のいずれかの操作で、Windows と SD メモリーカードに同じユーザー名とパスワードを設定してください。 • [SD カード設定] で SD メモリーカード側の設定を変更する。 • [コントロールパネル] で Windows 側の設定を変更する。

■ ユーザーの簡易切り替え機能

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない	● ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 • アプリケーションソフトが正しく動作しない • Fn とのキーの組み合わせが動作しない • 画面の設定ができない • 無線 LAN が使えない • B's CLiP のアイコンがタスクトレイに表示されず、CD-RW ディスクに書き込みができない このような場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、コンピューターを再起動してください。

■ Microsoft® Office Personal Edition 2003付属のモデルをお使いの方

スタートメニューの [電子メール] をクリックしても、メールソフトが起動しない	● Microsoft® Office Personal Edition 2003 をアンインストールすると、スタートメニューから起動するメールソフトの設定も削除されます。 以下の手順で再設定してください。 ① タスクバーを右クリックして、[プロパティ] - [[スタート]メニュー]をクリックする。 ② [カスタマイズ]をクリックする。 ③ [[スタート]メニューでの表示]の[電子メール]でメールソフトを設定し、[OK]をクリックする。
Microsoft® Excel を起動すると「‘C:\...\SFWiz.xla’ が見つかりません。...」というエラーメッセージが表示される	● Microsoft® Office Home Style+ をアンインストールしませんでしたか？ 付属の CD を使って Microsoft® Office Home Style+ を再インストールしてください。
Microsoft® IME2003 手書き入力パッドを起動すると、警告メッセージが表示される	➔ 15 ページ

■ その他

応答がない	● Ctrl+Shift+Esc を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）が別のウィンドウで隠れていませんか？ Alt+Tab で表示されている画面を確認してください。 ● 電源スイッチを 4 秒以上スライドして電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、以下の項目でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]

コンピューターの使用状態を確認する

PC 情報ビューアーを使ってコンピューターの使用状態を確認し、ご相談窓口に相談されるときの情報として活用することができます。（コンピューターの管理者の権限でログオンしないと、一部「未検出」と表示される情報があります。）

■ PC情報ビューアーを起動する

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] - [PC 情報ビューアー]をクリックする。

項目をクリックすると各項目の詳細情報が表示されます。
（PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。）

■ 情報をファイルに保存する

表示している内容をテキスト形式（.txt）にファイル保存することができます。

① PC情報ビューアーを起動し、保存したい情報を表示させる。

② [保存]をクリックする。

- 表示されている項目を保存する場合
  [表示している情報だけ保存する] をクリックして、[OK] をクリックする。
  ウィンドウの外に隠れている部分も含めて保存できます。スクロール操作で表示位置をずらす必要はありません。
- すべての項目を保存する場合
  [すべての情報を保存する] をクリックして、[OK] をクリックする。

③ フォルダーを指定し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。

■ 画面のコピーをファイルに保存する

表示している画面のコピーをビットマップ形式（.bmp）でファイル保存することができます。

① 保存したい画面を表示させる

② **Ctrl**+**Alt**+**F8**を押す。

③「画面のコピーを.......保存しました」と表示されるので、[OK]をクリックする。

「マイドキュメント」フォルダーに「pcinfo.bmp」ファイルが作成されます。「pcinfo.bmp」ファイルがある場合は上書きされます。（「pcinfo.bmp」ファイルを読み取り専用や隠しファイルに設定している場合は、上書き保存できません。）

- ファイルの拡張子（.bmp）を表示するには、エクスプローラーの [ツール] - [フォルダオプション] - [表示] をクリックし、[詳細設定] の [登録されている拡張子は表示しない] のチェックマークを外してください。

お知らせ

- 以下の操作で画面のコピーをファイルに保存することもできます。
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [画面コピー]
- 工場出荷時は、**Ctrl**+**Alt**+**F8**を押すと画面のコピーをファイル保存できるように設定されていますが、以下の操作で変更することもできます。

  ① [PC情報ビューアー]を選ぶ。
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] をクリックする。

② [画面コピー]を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット]をクリックする。

③「ショートカットキー」にカーソルを移動させてクリックし、ショートカットに使うキーを押し、[OK]をクリックする。

- 色数は、256色で保存されます。
- 拡張デスクトップモードでお使いの場合
  プライマリデバイス側に表示している画面を保存します。

再インストールのしかた

お客様が作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップをとっておいてください。
再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

- データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作／誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。

■ 再インストールとは

ハードディスクをフォーマットして、Windows をインストールし直す作業のことです。

■ 再インストールが必要な場合

- Windows が起動しなくなり、修復できない場合
- ハードディスクを 2 つのパーティションに分割する場合

再インストールの前に

■ 準備する

- プロダクトリカバリー DVD-ROM

■ 以下の点を確認する

- 周辺機器および SD メモリーカード／マルチメディアカードは、すべて取り外してください。特に、USB フロッピーディスクドライブや USB 接続の CD ドライブは、接続したままでは再インストールが正常に行われない場合がありますので、必ず取り外してください。
- 必ず、AC アダプターを接続してください。
- 再インストールしても、DVD ビデオのリージョンコードを設定できる回数は、工場出荷時の状態に戻りません。

■ 再インストールの流れ

セットアップユーティリティの設定を変更する。

↓

プロダクトリカバリー DVD-ROM を使って再インストールする。(約 20 分)

↓

セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

↓

Windows のセットアップを行う。
【Microsoft® Office Personal Edition 2003 **付属のモデルをお使いの方**】
Microsoft® Office Personal Edition 2003 など、付属のアプリケーションソフトをインストールし、ライセンス認証を行う。（➔ 48 ページ）

↓

セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。

↓

インターネットに接続できる場合は、Windows Update を行う（➔ 25 ページ）

再インストールする

1　セットアップユーティリティの設定を変更する。

以下の設定を行います。

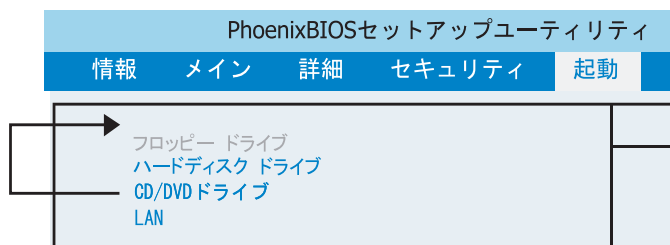
- 工場出荷時の設定に戻す。
- DVD-ROM & CD-R/RW ドライブから起動できる設定に変更する。

お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをおすすめします。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に**F2** を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力し、**Enter** を押してください。

② **F9**を押す。
以下のメッセージが表示されますので[はい]を選び、**Enter**を押してください。

セットアップ確認
デフォルト値をロードしますか？
[はい]　[いいえ]

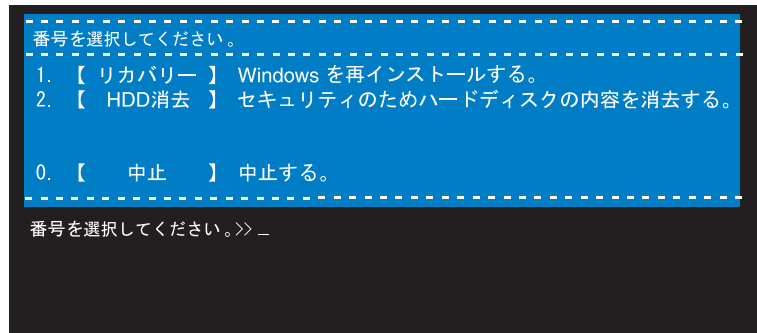
③「起動」メニューで[CD/DVD ドライブ]を選び、**F6**を押して[CD/DVD ドライブ]が1番目になるように設定する。

④ プロダクトリカバリー DVD-ROMをDVD-ROM & CD-R/RWドライブにセットする。

⑤ **F10**を押す。
以下のメッセージが表示されますので[はい]を選び、**Enter**を押してください。

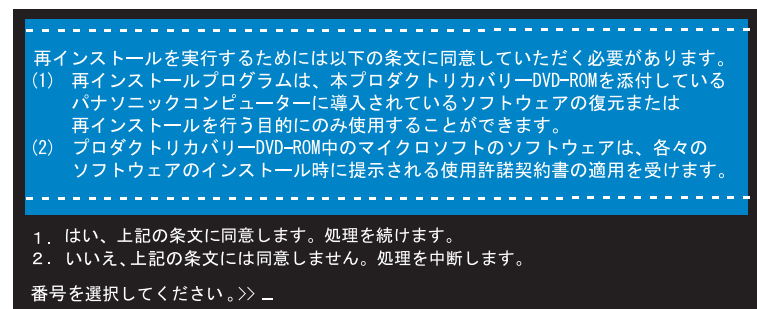
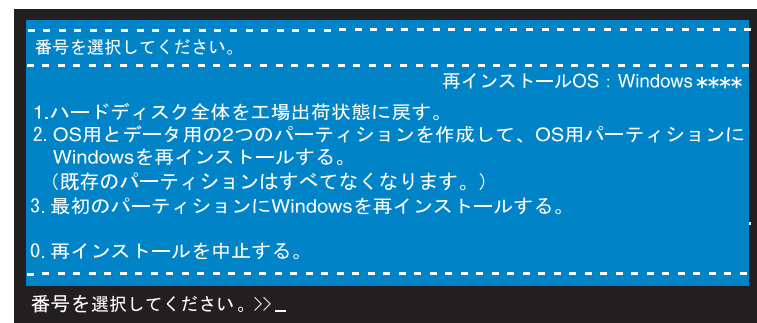
セットアップ確認
設定の変更を保存して終了しますか？
[はい]　[いいえ]

セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。

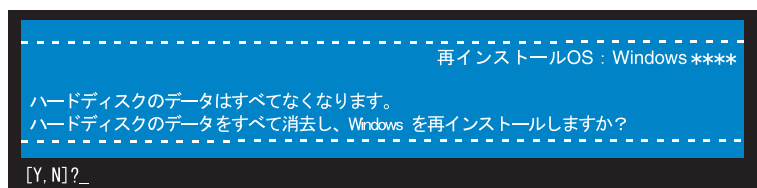
2 **プロダクトリカバリー DVD-ROMを使って再インストールする。**

① **1**を押して「1.【リカバリー】」を実行する。
（以降の画面はすべて一例です。）

- 再インストールを実行するための条件が表示されます。

② 同意する場合は**1**を押し、
同意しない場合は**2** を押す。
- **1** を押すとメニューが表示されます。
- **2** を押すと再インストールが終了します。

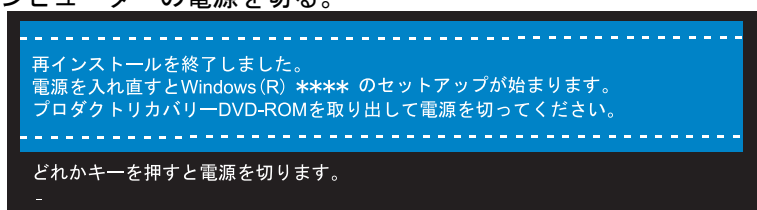
> 再インストールを実行するためには以下の条文に同意していただく必要があります。
> (1) 再インストールプログラムは、本プロダクトリカバリーDVD-ROMを添付している
> パナソニックコンピューターに導入されているソフトウェアの復元または
> 再インストールを行う目的にのみ使用することができます。
> (2) プロダクトリカバリーDVD-ROM中のマイクロソフトのソフトウェアは、各々の
> ソフトウェアのインストール時に提示される使用許諾契約書の適用を受けます。
>
> 1. はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。
> 2. いいえ、上記の条文には同意しません。処理を中断します。
>
> 番号を選択してください。>> _

③ 再インストールの方法を選ぶ。

- お買い上げ時の状態に戻す場合
  1 を押す。
- パーティションを２つ（OS 用とデータ用）に分割する場合
  2 を押す。
  ↓
  OS 用パーティションのサイズ（G バイト単位）を数字で入力し、
  Enter を押す。
  - 0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
  - 利用できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。
    機種により、設定できる最大のサイズは異なります。
- パーティション構成を変更せず、最初のパーティションに Windows を再インストールする場合
  3 を押す。
  - 最初のパーティションのサイズは約 6 G バイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

④ 確認のメッセージが表示されますので、Yを押す。

```
                          再インストールOS : Windows ****
ハードディスクのデータはすべてなくなります。
ハードディスクのデータをすべて消去し、Windows を再インストールしますか?
[Y,N]?_
```

再インストールが始まります。

- 途中で電源を切ったり、Ctrl+Alt+Delを押すなどして、再インストールを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失して再インストールが実行できなくなったりするおそれがあります。

⑤「再インストールを終了しました」というメッセージが表示されますので、プロダクトリカバリー DVD-ROMを取り出し、何かキーを押してコンピューターの電源を切る。

```
再インストールを終了しました。
電源を入れ直すとWindows(R) **** のセットアップが始まります。
プロダクトリカバリーDVD-ROMを取り出して電源を切ってください。
どれかキーを押すと電源を切ります。
_
```

3 セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

Windowsを正しくセットアップするために、セットアップユーティリティを必ず工場出荷時の設定に戻してください。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

② F9を押す。
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。

③ F10を押す。
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enter を押す。セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。

4 Windowsのセットアップを行う。(➔ 13ページ)

【Microsoft® Office Personal Edition 2003付属のモデルをお使いの方】

Microsoft® Office Personal Edition 2003など、付属のアプリケーションソフトをインストールし、ライセンス認証を行ってください。(➔ 48ページ)

5 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

(パスワードを除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。)

6 インターネットに接続できる場合は、Windows Updateを行う。

(➔ 25ページ)

■ ドライブ文字を変更する

以下の手順で DVD-ROM & CD-R/RW ドライブやハードディスクドライブのドライブ文字を変更することができます。
- C: ドライブは変更できません。
- 工場出荷時、DVD-ROM & CD-R/RW ドライブは D: ドライブになっています。
- アプリケーションソフトをインストールする前に行うことをおすすめします。

① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [管理ツール] をクリックして、[コンピュータの管理]をダブルクリックする。
② [記憶域]の[ディスクの管理]をクリックする。
③ ハードディスクのパーティションまたはDVD-ROM & CD-R/RWドライブ名を右クリックして、[ドライブ文字とパスの変更]をクリックする。
④ [変更]をクリックする。
⑤ [次のドライブ文字を割り当てる]をクリックして選び、新しいドライブ文字を設定して、[OK]をクリックする。
⑥ 確認メッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

Microsoft® Office Personal Edition 2003付属のモデルをお使いの方へ

再インストールした場合、付属の Microsoft 社製アプリケーションを再度インストールする必要があります。ソフトウェアパッケージに付属の CD を使って、Microsoft® Office Personal Edition 2003 、Microsoft® Office Home Style+、Microsoft® Office OneNote™ 2003 の順番でインストールしてください。

- [標準インストール] を選択してインストールすると、アプリケーションの操作中に機能の追加が必要になる場合があります。画面の指示に従って、インストールしてください。
  また、インストールされていない機能（手書き入力パッドなど）を確認するには、[コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] - [プログラムの変更と削除] をクリックし、調べたいアプリケーションをクリックして、[変更] をクリックしてください。詳しくは付属のソフトウェアパッケージ内の説明書をご覧ください。
- インターネットに接続できる場合は、必ず「Office のアップデート」を行ってください。（➔ 15 ページ）

■ ライセンス認証について

Microsoft® Office Personal Edition 2003、Microsoft® Office OneNote™ 2003 を再インストールした場合、ライセンス認証が必要になります。

ライセンス認証を行わずに使い続けて、ある一定の使用回数を超えると、各ソフトウェアに使用制限が発生します。必ず、認証を受けてください。
- ライセンス認証の操作の流れ
  再インストールしたソフトウェアのいずれかを起動すると、認証ウィザードが起動します。画面の指示に従って、操作を行ってください。
  認証方法として、インターネットによる認証と電話による認証の 2 とおりがあります。インターネットによる認証を受けるには、インターネットに接続できる環境が必要です。

ソフトウェア使用許諾書

第 1 条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルや DVD-ROM などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第 2 条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第 3 条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第 4 条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター 1 台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第 5 条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第 6 条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第 7 条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第 6 条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊 社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

第 8 条　輸出管理
お客様が、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

ハードディスクの内容をすべて消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去します。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客様の損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

■ 準備する

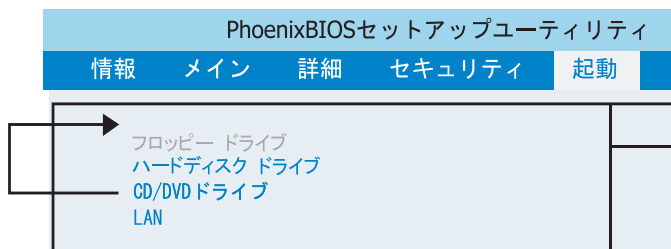
- プロダクトリカバリー DVD-ROM

■ 以下の点を確認する

- 必ず、AC アダプターを接続してください。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

データをすべて消去する

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に**F2**を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力し、**Enter**を押してください。ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。

②「起動」メニューで[CD/DVD ドライブ]を選び、**F6**を押して[CD/DVD ドライブ]が1番目になるように設定する。

③ プロダクトリカバリー DVD-ROMをDVD-ROM & CD-R/RW ドライブにセットする。

④ **F10**を押す。
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、**Enter**を押す。
セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。
以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

⑤「番号を選択してください」というメッセージが表示されますので、**2**を押して「2.【HDD消去】」を実行する。（**0**（ゼロ）を押すと、操作を中止することができます。）
確認のメッセージが表示されます。

⑥ Yを押す。
ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。
（以降の画面はすべて一例です。）

⑦「<<<スタートメニュー >>>」でEnterを押す。

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version＊.＊＊＊＊
                                        (C) ****  松下電器産業株式会社
--------------------------------------------------------------------
<<<スタートメニュー>>>
  ハードディスクデータ消去ユーティリティはハードディスク上のデータを
  全て上書きすることにより消去します。
  必要なデータはバックアップを作成してください。
  メッセージに従って操作キーを選択してください。
  （次へ：Enterキー， 中止：その他のキー）... _
```

⑧ 消去にかかるおおよその時間など、メッセージの内容を確認してから
Spaceを押す。

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version＊.＊＊＊＊
                                        (C) ****  松下電器産業株式会社
--------------------------------------------------------------------
<<<ドライブリスト>>>
 0 : ドライブ:セクター総数     :******** ( ******** )
             ディスク容量      :*****MB.

（お知らせ）
   ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
   およそ**分から **分かかります。
   コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか？
    （はい：スペースキー， いいえ：その他キー)... _
```

⑨ メッセージの内容を確認してからEnterを押す。

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version＊.＊＊＊＊
                                        (C) ****  松下電器産業株式会社
--------------------------------------------------------------------
<<<ドライブリスト>>>
 0 : ドライブ:セクター総数     :******** ( ******** )
             ディスク容量      :*****MB.

（お知らせ）
   ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
   およそ**分から **分かかります。
   コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか？
    （はい：スペースキー， いいえ：その他キー)...[はい]

（お知らせ）
   ハードディスクデータ消去ユ-ティリティを実行するとデータは元に戻り
   ません。Enterキーを押すとデータ消去を開始します。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか？
    （実行：Enterキー， 中止：その他のキー）... _
```

ハードディスクのデータ消去が開始されます。
（万一、途中でデータ消去を中断する場合は、 Ctrl+Cを押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。）
「ハードディスクのデータは消去されました」というメッセージが表示されますので、プロダクトリカバリー DVD-ROMを取り出して、何かキーを押してコンピューターの電源を切ってください。
何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

RAMモジュール

RAM モジュールを増設し、メモリーを増やすことによって Windows やアプリケーションソフトの処理速度を上げることができます。

推奨品以外の RAM モジュールは使用しないでください。正常に動作しないだけでなく故障の原因になる場合があります。

RAM モジュール仕様（別売り商品⇒付属の『ご使用の前に』）
172 ピン、マイクロ DIMM、2.5 V、DDR SDRAM、PC2100

お願い

- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触ったり、ゼムクリップなどの異物を入れないでください。機器が破損したり、火災・感電の原因になります。

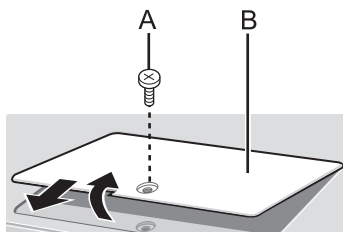
RAMモジュールの取り付け／取り外し

お願い

- 挿し込みにくい、または倒しにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きを確認してください。
- ネジ山をつぶさないように、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。

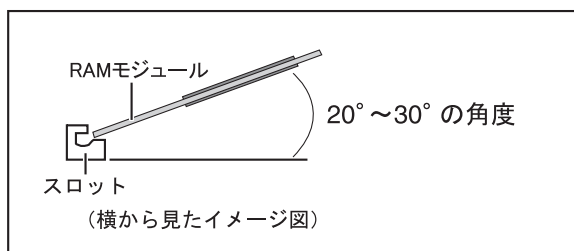
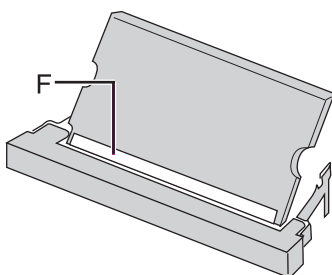
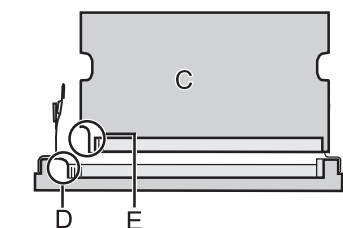
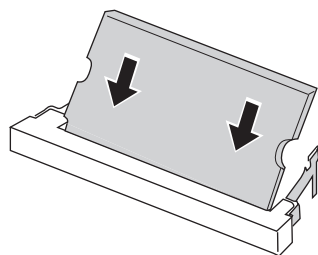
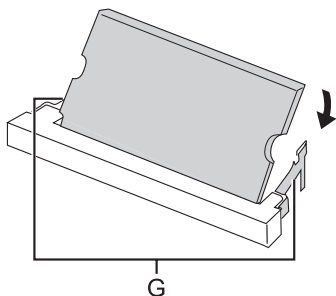
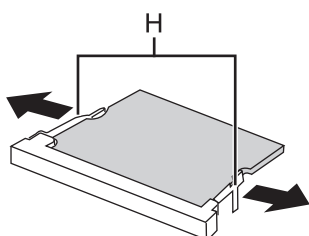
1 コンピューターの電源を切る。（➔ 19ページ）

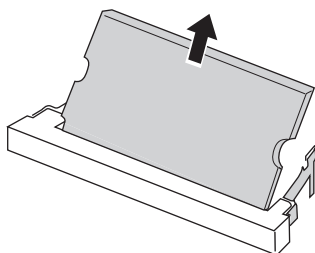
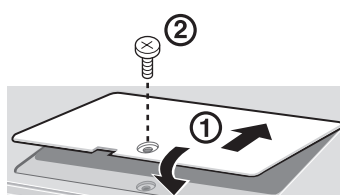
- スタンバイ・休止状態のとき、取り付け／取り外しを行わないでください。
- AC アダプターを取り外してください。

2 本体を裏返し、バッテリーパックとネジ（A）を取り外してカバー（B）を外す。

3 RAMモジュールを取り付ける／取り外す。

- RAM モジュールを取り付けるとき

① RAMモジュール（C）の向きを確認する。
スロットの凸部（D）とRAMモジュールの切り欠き部（E）の向きを合わせて持ってください。

② スロットと平行にRAMモジュールを軽く合わせる。
（金属の端子（F）が見えている状態）

③ 金属の端子が見えなくなるまで、平行にしっかりと挿し込む。
しっかりと挿し込まずに次の手順を行うと、スロットが破損する場合があります。

④ 左右のフック（G）でロックされるまで倒す。
RAMモジュールを倒すとき、左右のフックが少し開き、ロックされると元に戻ります。

● RAM モジュールを取り外すとき

① 左右のフック（H）を外側にゆっくりと広げる。
RAMモジュールが斜めに持ち上がります。

② ゆっくりとスロットから取り出す。

4 カバーを取り付ける。

① カバーを斜めから挿し込み、取り付ける。

② ネジで固定する。

お知らせ

● RAMモジュールが認識されているかどうかは、セットアップユーティリティの「情報」メニューで確認できます。（➔ 29ページ）
RAMモジュールが認識されていない場合は、コンピューターの電源を切り、RAMモジュールを取り付け直してください。

仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

● 本体仕様

機種名			CF-W2CW1AXR　CF-W2CW1AXP　CF-W2CW1HXP
CPU			超低電圧版 インテル® Pentium® M プロセッサ1GHz
	キャッシュ		オンダイL2キャッシュ-1Mバイト*1
搭載メモリー（拡張可能メモリー）			256 Mバイト*1（最大512 Mバイト*1）
ビデオメモリー			最大64 Mバイト*1*2（メインメモリーと共用）
LCD	タイプ		12.1型TFTカラー液晶
	解像度　（表示色数）		1024 × 768/800 × 600ドット（いずれの解像度でも65536色/1677万色）*3
外部ディスプレイ			1600 × 1200/1280 × 1024/1024 × 768/800 × 600ドット （いずれの解像度でも65536色/1677万色）*4
ハードディスクドライブ			約40 Gバイト*5
DVD-ROM & CD-R/RWドライブ			バッファアンダーランエラー防止機能（SmoothLink™）搭載
	使用可能ディスク		DVD-ROM（1層、2層）、DVD-R*6（3.95 Gバイト、4.7 Gバイト）*5、DVD-RW*6（4.7 Gバイト、9.4 Gバイト）*5、DVD-RAM*6*7（2.6 Gバイト、5.2 Gバイト、4.7 Gバイト、9.4 Gバイト）*5 CD-Audio、CD-ROM、CD-R、Photo CD、VideoCD、CD-EXTRA、CD-RW、CD-TEXT
	転送速度	DVD-ROM読み込み *8	最大8倍速
		CD-ROM読み込み *8	最大24倍速
		CD-R書き込み *9	4倍速、8倍速、8〜16倍速、8〜24倍速
		CD-RW書き換え	4倍速
		High-Speed CD-RW書き換え	4倍速、8倍速、10倍速
		Ultra-Speed CD-RW書き換え*10	8倍速、10倍速、8〜16倍速
キーボード			OADG準拠、Windowsキーボード（87キー）
スロット	PC カードスロット		Type Ⅰ(Type Ⅱ) × 1スロット 許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA
	増設RAMスロット		1スロット（172ピン、マイクロ DIMM、2.5 V、DDR SDRAM、PC2100*11）
	SD メモリーカードスロット		SDメモリーカード／マルチメディアカード
インターフェース	外部ディスプレイコネクター		アナログRGB ミニD-sub15ピン
	マイク入力端子		モノラルミニジャックM3（コンデンサーマイクを使用のこと）
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャックM3
	USB コネクター		Universal Serial Bus 2.0準拠 4 ピン × 2
	モデムコネクター		RJ-11 DATA：56 kbps（V.90）FAX：14.4 kbps
	LAN コネクター		RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T
	無線LAN モジュール		内蔵（➔ 55ページ）
ポインティングデバイス			ホイールパッド
サウンド機能			PCM音源（16ビットステレオ）、モノラルスピーカー
消費電力 *12			最大 約40 W、（社)電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：24 W
バッテリー	駆動時間		約7.5時間*13
	充電時間		約4.5時間*14
外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）			268 mm × 27.5mm(前部)/41.5 mm(後部) × 209.2 mm （突起部を除く）
質量			約1290 g
使用環境条件			温度：5 ℃ ~ 35 ℃ 湿度：30 %RH ~ 80 %RH（結露なきこと）

*1 1Mバイト=1,048,756バイト
*2 コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
*3 ディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。
*4 外部ディスプレイの仕様により異なります。
*5 1Gバイト=1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGバイト表示される場合があります。
*6 読み込みのみ。
*7 DVD-RAM は、カートリッジなしのディスクまたはカートリッジから取り出せるディスクのみ使用できます。
*8 偏重心のディスク（重心が中央にないディスク）を使用すると、振動が大きくなり速度が遅くなることがあります。
*9 使用するディスクによって、書き込み速度が遅くなることがあります。
*10 24倍速書き換えには対応していません。
*11 PC2700対応のRAMモジュールを取り付けた場合、動作周波数は266 MHz（PC2100相当）となります。
*12 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W。
*13 JEITAバッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）による駆動時間。バッテリー駆動時間は、動作環境／システム設定により変動します。
*14 バッテリー充電時間は動作環境／システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。

● 付属品仕様

AC アダプター	入力	AC 100 V 〜 240 V*1、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 16 V、2.5 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	7.4 V(Li-ion)、6.6 Ah

*1 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。(➔ 3ページ)

● 導入済みソフトウェア

OS	Microsoft® Windows® XP Professional with Service Pack1a (NTFSファイルシステム) Microsoft® Windows® Media Player 9.0 DirectX 9.0b Microsoft® Windows® Movie Maker 2.0
ソフトウェア名	DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ ホイールパッドユーティリティ 無線LAN切り替えユーティリティ Hotkey設定 Adobe® Acrobat® Reader PC情報ビューアー WinDVD™ 5 (OEM版) B's Recorder GOLD7 BASIC B's CLiP 5 マカフィー®・ウイルススキャン 各種プロバイダーオンラインサインアップ Microsoft® Office Personal Edition 2003*2 Microsoft® Office Home Style+*2 Microsoft® Office OneNote™ 2003*2 Microsoft® IME 2003*2
	セットアップユーティリティ ハードディスクデータ消去ユーティリティ*3

*2 CF-W2CW1HXPのみ
*3 プロダクトリカバリーDVD-ROMが必要です。

● 無線 LAN モジュール

データ転送速度	IEEE802.11g : 54 Mbps/48 Mbps/36 Mbps/24 Mbps/18 Mbps/12 Mbps/9 Mbps/6 Mbps (自動切替)*4 IEEE802.11b : 11 Mbps/5.5 Mbps/2 Mbps/1 Mbps (自動切替)*4
準拠規格	ARIB STD-T66 (小電力データ通信システム規格)
	IEEE802.11g/IEEE802.11b (無線 LAN 標準プロトコル)
伝送方式	OFDM 方式、DS-SS 方式
伝送距離	見通し約 50 m (アクセスポイントとの通信時)*5
使用無線チャンネル	1 〜 11 チャンネル
RF 周波数帯域	2.4 GHz 帯全域 (2.4 GHz 〜 2.4835 GHz)

*4 IEEE802.11b/g 規格による速度であり、実効速度とは異なります。
*5 通信距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフトウェア、OS などの使用条件によって異なります。

さくいん

重要なお知らせ

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障／修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化／消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「上手にお使いいただくために」（➔ 22 ページ）の内容に注意してください。

- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り替えします。
- 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。
- 漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

日本国内で無線 LAN モジュールをお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえばパーティションの設置など）についてご相談ください。
③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は､｢修理に関するご相談窓口｣へ!
●その他のお問い合わせは､｢お客様ご相談センター｣へ!

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
［消耗品（バッテリーパック）を除く］

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

「困ったときのQ&A」（☞『取扱説明書』および『操作マニュアル』）に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参、または修理に関するご相談窓口にご相談ください。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

修理に関するご相談

付属の『ご使用の前に』の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話　フリーダイヤル　0120-873029（パナソニック）
ＦＡＸ　(06)6905-5079
365日／受付9時～20時

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

2004年1月1日現在

■ 詳しくは、付属の『ご使用の前に』の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

修理依頼表

（この用紙をコピーしてご依頼内容をご記入の上、修理依頼品に添付してください）

日ごろはパナソニックパーソナルコンピューターをご愛顧いただき、まことにありがとうございます。
修理のためにお客様の商品をお預かりさせていただくにあたり、以下の内容についてご確認、ならびにご記入をお願いいたします。

[パナソニックパーソナルコンピューターの修理をご要望されるお客様へのお願い]

1. データをバックアップしてください ※障害により操作できない場合は、そのままお預かりします。

お客様よりお預かり致しますパーソナルコンピューターの取り扱いには細心の注意をしておりますが、ハードディスク内にデータが残っていた場合、運送途中、もしくは弊社での修理のためにハードディスク内のデータが消えることがあります。このような場合、弊社は一切の責任を負うことはできませんので、あらかじめご了解いただきますようお願いいたします。
したがいまして、常日ごろから定期的にハードディスク内のデータのバックアップをお取りいただきますとともに、修理に出される前には万一に備え、お客様ご自身にて必要なデータのバックアップをお取りいただきますようお願いいたします。

2. ハードディスクの初期化についてご確認ください

お預かり致しますパーソナルコンピューターの故障状況によりましては、修理のためハードディスクを初期化することが必要になる場合があります。この初期化について、以下のとおり、お客様のご同意の確認をさせていただきますので、ご記入いただきますようご協力をお願いいたします。
なお、初期化により、ハードディスク内に記録されているお客様のすべてのデータおよびソフトウェアが消去されます。
したがいまして、常日ごろから定期的にハードディスク内のデータのバックアップをお取りいただきますとともに、万一に備え、修理に出される前には、お客様ご自身にて必要なデータのバックアップをお取りいただきますようお願いいたします。

3. パスワードを解除しておいてください

症状を確認することができるように、起動時のパスワードは無効にしておいてください。

4. 修理されるパソコンに同梱してください

本修理依頼表は、保証書とともに、修理されるパーソナルコンピューターに添付していただきますようお願いいたします。

ご依頼日：20　年　月　日

フリガナ お名前		電話番号	（　　）　-
		FAX番号	（　　）　-
ご住所	〒		
商品品番		（製造番号：　　　）	
お買い求め年月日	年　月　日		
お買い求めの販売店名		電話番号	（　　）　-

● 故障内容を教えてください：以下に ✓ を入れてください
□起動しない　□画面が表示されない　□エラー画面が表示される　□その他

● 具体的な故障内容をご記入ください
①どのような症状ですか（できるだけ詳しくご記入ください）

②その症状はどんな操作をしたときに起こりますか

③症状の発生頻度を教えてください：以下に ✓ を入れてください
□常時　□日に数回　□週に数回　□不定期に　□過去に発生した

● ハードディスク内のデータのバックアップおよびそのデータの消去はお済みですか：以下に ✓ を入れてください
□バックアップした　□バックアップしていない（上記のお願い事項1.をご確認ください）

● 「ハードディスクの初期化について」：以下に ✓ を入れてください
□同意する　□同意しない（修理することができず、そのままご返却させていただく場合があります）

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic パーソナルコンピューター CF-W2 シリーズ取扱説明書

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検　長年ご使用のコンピューターの点検を！

こんな症状はありませんか	• 異常な音やにおいがする • 水や異物が入った

このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグとバッテリーパックを抜いて、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	販売店名	☎（　　　）　　　-

松下電器産業株式会社 IT プロダクツ事業部

〒 570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

FJ0104-0
DFQM5548ZA